



生産技術科 動物コースが現場見学会を実施しました。

目的 ペット（犬、猫）の愛護活動に関する知識を学び、今後の課題研究等の学習に役立てる。また、家畜の「と殺」から「解体処理」されるまでの様子を学び、今後の飼育技術や実習に向けての意識向上に役立てる。

日時 平成30年12月14日（金） 10:30～14:30

対象生徒 生産技術科2年 動物コース 20名

見学場所 新潟県動物愛護センター

〒940-2035 長岡市関原町1丁目 2663-6

実施内容 センターにおける活動等の説明と施設見学

講師 新潟県動物愛護センター長 上原 伸 様

成果 新潟県内で何らかの事情で飼育できなくなったり、虐待を受け病気やケガを負っているペットが多くいることを知った。また、愛護センターの保護活動の現状を理解し、より一層、ペットに対する愛情を深めることができた。

生徒の感想 ○捨てられたり、迷子のペットが多くいることにショックを受けた。その様なことがない世の中になって欲しい。

○新潟県の愛護センターの活動によって、年間の譲渡数が伸び、殺処分が減っている現状を知ることができた。

講師からの助言 人と動物との正しいつきあい方、正しい飼い方を理解して欲しい。また、やむを得ない事情により殺処分することがないようにしてもらいたい。



新潟県動物愛護センター
(新潟県 Website より引用)



保護されたペットを見守る生徒

見学場所 株式会社 長岡食肉センター

〒940-2464 長岡市新開町 3226-7

実施内容 施設見学及び「と殺」から「解体」、「枝肉」になるまでの実際の様子を見学

講師 株式会社 長岡食肉センター 代表 林 又一 様

成果 「と殺」～「保存される」までの実際の現場を見学することで「命の大切さ」や「経済動物」から受けている恩恵を考えることができた。

講師からの助言 家畜は経済動物として天寿を全うすることができないこと。また、農場から出荷されてきた家畜を肉としてスーパー等で販売できるように品質・衛生管理をしていることを理解して欲しい。

生徒の感想 ○普段学校で飼育している家畜が、食肉になる現場を見学することができ良かった。

○枝肉として吊され、保存されている姿に圧倒された。

今後の課題 事前学習に取り組み、飼育している家畜の飼育技術や接し方に関する知識を向上に努める。



説明を受ける様子①



説明を受ける様子②